

厚生労働省健康局長 上田 博三 様

要 望 書

北 海 道

要 望

北海道の健康施策の推進につきましては、日頃から格別のご支援、ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、国においては、平成19年度厚生労働科学研究費補助金こころの健康科学研究事業において、3年間の計画で「脳脊髄液減少症の診断・治療の確立」をテーマに研究が行われているものと承知しております。

このような中、脳脊髄液減少症の患者及び家族など約45,000名の方々から、脳脊髄液減少症の診断基準や治療法の確立と一刻も早い保険適用について国に対して求めるよう署名を添えた要望書の提出をいただいたところです。

道としても、早期に診断基準や治療法が確立され、脳脊髄液減少症が疑われる方々が適切に診断され早期に必要な治療を受けることができるとともに、医療保険が一日も早く適用され患者の負担軽減が図られることは喫緊の課題と考えているところです。

このため、研究班の研究を一層加速し、速やかな病態の解明と保険適用の実現について、特段のご配慮を賜りますようお願い申し上げます。

平成20年11月12日

北海道知事 高橋 はるみ